

本市の中心市街地の現状と課題

JR白河駅周辺とその隣エリアである中心市街地は、城下町として発展してきた歴史を持ち、行政機関や商業施設、歴史的建造物などが集積した「白河市の顔」といえるエリアです。

しかし、近年は郊外型商業施設の増加やオンラインショッピングの普及により来街者が減少し、空き店舗や空き地が目立っています。さらに、少子高齢化が進む中で、若年層の流出や居住人口の減少が進み、商店街のにぎわいや地域のコミュニティにも影響を与えています。

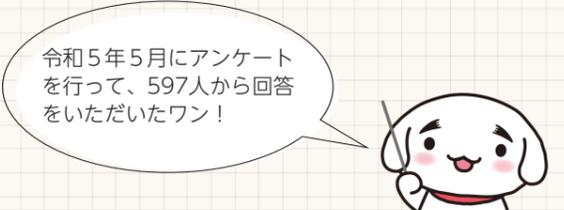
こうした中心市街地の状況は、本市に限らず全国的な共通課題でもあります。これらの課題を解決するため、地域経済やコミュニティの活性化に加え、空き店舗の有効活用や建物の適切な維持管理などが求められています。



特集
私たちの
まちなかチャレンジ

白河市中心市街地活性化基本計画に関するアンケート調査の主な内容

- 1 中心市街地の来街目的** (複数回答可)
 - 1. 買い物 62.3%
 - 2. 金融機関 (銀行・郵便局など) 40.3%
 - 3. 通勤・通学 32.7%
 - 4. 公共サービスの利用 (図書館など) 26.8%
- 2 中心市街地に活気が感じられるか**
 - 1. あまりそう思わない・全くそう思わない 60.5%
 - 2. そう思う・まあそう思う 29.8%
 - 3. わからない 9.7%
- 3 中心市街地の商業機能を活性化するために重要なこと** (複数回答可)
 - 1. 駐車スペースの確保 69.2%
 - 2. 空き店舗の有効活用を図る 51.9%
 - 3. 商店街を楽しく歩けるよう店の外観や通りのまちなみを整備する 44.4%
 - 4. 商品の専門性や質を向上させる 41.5%
- 4 中心市街地に望むこと** (複数回答可)
 - 1. 各種施設が集中し、まとまったサービスが提供されること 42.9%
 - 2. 生活必需品が買えること 40.2%
 - 3. 地域の歴史や伝統文化を継承する役割 34.8%
 - 4. 地元の人々が集まるコミュニティとしての役割 34.3%
- 5 中心市街地の魅力向上のために必要な施設整備や事業展開** (複数回答可)
 - 1. 喫茶店やカフェ 63.5%
 - 2. 定食やランチを提供する飲食店 61.3%
 - 3. 駐車場 59.3%
 - 4. 映画館・ゲームセンターなどの娯楽施設 46.6%



空き店舗の活用がひとつのカギ

令和5年に市が実施した「中心市街地活性化基本計画」に関するアンケート調査の結果から、中心市街地の商業機能を活性化するために重要なこととして、「空き店舗の有効活用を図る」という回答が多く寄せられました。

また、中心市街地に望むことについては「地元の人々が集まるコミュニティとしての役割」という回答が年々増加しています。

このため、本市では中心市街地の活性化を重要なテーマと位置づけ、エリア内の空き店舗や空き家を活用するための改修費用などを支援する各種制度を設け、積極的なサポートを行っています。



上ノ台の蔵を改修し、念願のクレープ屋「Crepe NANAMIN」を開業した佐々木愛翠さん。大好きなクレープのお店を開きたいという夢を実現するため、市内の不動産屋を訪ねたり、市の空き店舗バンクを利用したりしながら、物件探しを進めたそうです。

空き店舗を改修し、クレープ屋を開業

今年度、中心市街地の空き店舗を改修して開店した魅力的なお店を紹介します。これらの店舗は、商店街の活性化やにぎわい創出を目的とした「まちなかチャレンジ応援事業補助金」を活用して開店しました。

新しい店舗の登場により、地域に活気が生まれ、新たな人の流れができています。

お店の自慢は、他にはないサクサクとした特製生地と、甘さにこだわったクレープ。開店以来、多くのお客様でにぎわっています。

まちなかに若い人もくつろげる空間を

市内の高校で学生時代を過ごした佐々木さん。当時の経験から「中心市街地に、学生が甘い物を楽しみながら気軽にくつろげる場を作りたい」との思いでお店を開店しました。

1階にテーブル席があるほか、2階にカウンター席も設置されており、放課後の学生や、ちょっとした仕事をしたい方にも便利な場所となっています。

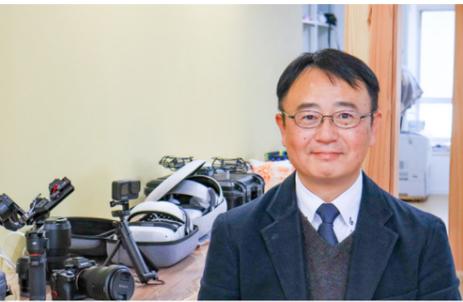
さらに、より良いサービスを提供するため日々工夫を重ね、ホットクレープや、肉などを包んだ食事系のクレープ、季節限定メニューなども展開しています。

新しい挑戦が、中心市街地に新たな風を吹き込んでいます。

店舗情報
Crepe NANAMIN
所在地 上ノ台24番地
営業時間 午前11時～午後6時
定休日 月曜日
電話番号 070-8551-7733



本年度オープン まちなかの事業所・店舗を一部ご紹介！



所在地 道場小路57番地
営業時間 午前9時30分～午後6時
定休日 土日祝日
電話番号 ☎@8298 ホームページ▶



築60年の空き家を改修し、お客様や地域の方が気軽に訪れて相談できる空間や、自由にVRゴーグル・3DプリンターなどのITを体験できるスペースを備えた事務所を構えました。
ウェブ制作業務に加え、IT化やDX推進が進んでいない小規模事業者様、中小企業様の支援にも取り組んでいます。ITやDXという言葉に苦手意識を持つ方にも、便利さを感じていただき、日常に取り入れられるよう手助けができればと思っています。

情報技術をより身近なものに

リノベーション改修支援を活用
合同会社 プラスタ／葉原 篤史さん



空き店舗を所有している方、空き店舗を探している方、空き店舗バンクに登録しませんか？



5件

空き店舗バンクでは、中心市街地内にある空き店舗の活用を促進するために、空き店舗の売却または賃貸を希望する所有者の方と、利用を希望する方をマッチングしています。
令和元年から始まったこの制度では、これまでに43件（令和6年12月時点）の物件が登録され、うち29件が成約し、飲食店や小売店として活用されています。
▽令和6年度実績



大手町



大手町



本町



本町

貸借・売買をマッチング
空き店舗バンク



所在地 道場小路80番地3 オリカサビル1F
営業時間 午後5時～11時
定休日 火曜日
電話番号 ☎@8129 Instagram▶



串焼店に長く勤務した経験を生かし、昨年11月に開店しました。食材にこだわり、天然ハーブ配合の特別な飼料で育てた「伊達ハープ鶏」を使っています。また、冷凍物は使わず、1本1本手刺しで作っています。レバー、ぼんじり、皮などがおすすめです。
まちに人の流れができるきっかけになればと思いますし「えにし(縁)」という店名のとおり、人と人との交流の場として縁をつなげるお店にできたらと思っています。

人と人の縁がつながる場に

まちなかチャレンジ支援を活用
炭火串焼きえにし／遠藤 智さん

事業承継支援

最大 200 万円



既存の事務所の事業を親族または第三者が承継するために必要な改修などへの補助

※いずれの補助メニューも令和6年度の受付は終了しています。

まちなか チャレンジ支援

最大 200 万円



商店街の活性化や地域のにぎわい創出につながる店舗の開設に必要な改修などへの補助

リノベーション 改修支援

最大 500 万円



商店街の活性化と地域コミュニティの再生につながる複合的な地域交流拠点の開設に必要な改修などへの補助

商店街の活性化や地域コミュニティの再生、そしてにぎわいの創出につながるため、地域交流拠点の設置や、中心市街地への出店に必要な費用の一部を補助する「まちなかチャレンジ応援事業」を実施しています。
補助メニューは次の3つです。

商店街の活性化を応援！
まちなかチャレンジ応援事業



所在地 大手町13番地2
営業時間 午前9時～午後7時
定休日 月曜日
電話番号 ☎@8234



当理容店は、昭和42年に父が本町で開業し、平成9年に今の場所に移転しました。事業承継に際し、時代や客層に合わせて清潔感のある落ち着いた雰囲気に改修しました。カットコースがメインですが、女性のお客様にはフェイシャルマッサージなども人気です。
長く利用いただいているお客様はもとより、初めて来店されるお客様にも満足いただけるよう、技術・サービスの向上に努め、まちなかの魅力向上に貢献できればうれしく思います。

半世紀以上の歴史をつないで

事業承継支援を活用
F926／藤島 友恵さん

Fight !!



市民のみなさんも、日常生活の中で色々なお店を訪れる、商品やサービスを利用する、SNSで情報発信をするなどして、まちなかの未来を応援してみませんか。

まちなかの店舗は、単なる商品の販売・サービスの提供だけでなく、交流やつながりを育む場として重要な役割を果たしています。利用時に、お店の方やほかのお客様との会話を楽しむことで、新たな人の流れを生み出す場にもなっています。

中心市街地に新たな明かり まちの未来を応援しよう

中心市街地には、さまざまな課題がある一方で、空き店舗を活用し、意欲的な店主が新店舗を開店するなど、新たな活力が生まれつつあります。
まちなかの店舗は、単なる商品の販売・サービスの提供だけでなく、交流やつながりを育む場として重要な役割を果たしています。利用時に、お店の方やほかのお客様との会話を楽しむことで、新たな人の流れを生み出す場にもなっています。

これらの補助により、中心市街地の空き店舗などの活用を支援しています。
▽令和6年度実績 7件